

## ピアノ奏法におけるペダルの技法

——(Ⅲ)ベートーヴェン・ピアノソナタ Op. 27-2 のペダリング——

### Pedalling in Piano Performance

— (Part Ⅲ) Pedalling for Beethoven Pianosonata Op. 27 - 2 —

根 木 真理子

Mariko NEKI

(昭和56年10月12日受理)

#### Abstract

Pedalling was discussed in general<sup>1)</sup> and several remarks in concerning with pedalling for Beethoven pianosonatas were made.<sup>2)</sup> In this report, pedalling in performance for Beethoven pianosonata Op. 27-2 "Moon Light Sonata" are studied in detail. Because of fantastic and experimental feature of this sonata, pedalling makes it possible to perform in several different ways. So the pedalling is very important technique especially for this sonata. All the note are pedalled and meaning of pedall are discussed.

#### はじめに

著者はこれまでに「ピアノ奏法におけるペダルの技法」というテーマをとりあげ、ペダルの諸問題について考察してきた。<sup>1,2)</sup>特に前回ベートーヴェン・ピアノソナタにおけるペダリングについて検討したが、ペダルによっていかにベートーヴェンの特長を出すかを論ずるために、少なくとも全楽章を対象としたペダリングを考えることが必要である。そこで今後の課題として、はベートーヴェン・ピアノソナタの全楽章をとりあげて、作品全体の流れの中で、ペダルの問題を考えていきたい。

全32曲あるベートーヴェン・ピアノソナタは、次のように大きく前期、中期、後期に分けら

れる。

前期 Op. 2-1 から Op. 22 (1795年~1800年)

中期 Op. 26 から Op. 57 (1801年~1805年)

後期 Op. 78 から Op. 111 (1809年~1822年)

それぞれの時期により、音楽様式の変化に伴い当然ペダルの用い方も異っている。今回はピアノソナタOp. 27-2 “月光”について検討してみる。この作品は彼のピアノソナタにおいて、オリジナルペダルが記されはじめた中期初頭の代表作品である。この曲のペダリングを検討することによって、前期から中期にかけてのペダルの奏法における変化、充実の様子が明らかになるとと思われる。本報告では、個々のペダリングの持つ意義について考察するとともに、全楽譜に筆者のペダリングを加えた譜面を掲載した。

### ピアノソナタ Op. 27-2 “月光”について

この作品は“*Sonata quasi una Fantasia*”、「幻想風なソナタ」と題されていることを見てもわかるが、形式にとらわれない自由な形のソナタであると一般的に考えられている。ベートーヴェンはソナタOp. 27-1, Op. 27-2にそれぞれ「幻想風なソナタ」と題して、新しい試みを行なっている。これは前期から中期への過渡期での大きな変化の1つである。一般にソナタの場合のテンポの変化は、速い→遅い→速い という構造になっている。

Op. 27-1におけるテンポの構造は、このような一般的原則にあっていない。しかも各楽章は普通それぞれ独立しているものであるが、この作品では全楽章がすべて*Attacca*でつながれており、まさに幻想風な個性にあふれている。そうした幻想的な性格はOp. 27-2ではさらにテンポの構造において強められている。すなわち、Adagioで始まり第2章でAllegretto、第3楽章でPrestoというように、テンポも次第に速くなり終楽章へ向って曲が激しく盛りあがっていく構造になっている。しかも第1楽章と第2楽章は*Attacca*でつながられている。又、2楽章から3楽章への移行も他のベートーヴェン・ピアノソナタの場合よりも間のとり方は一般に短い。

以上のような実験的な個性にあふれた“月光”ソナタは、奏者の解釈によって様々な音楽に作られていく可能性を秘めている。特にペダリングをどのように扱うかは、その演奏にとって欠くことのできない重要な問題である。

### 第1楽章

この楽章は、前奏曲（プレリュード）風な形式によっており、バッハのプレリュードなどに見られる同じ音形のくり返しによるソナタ形式と一般的に考えられていた。オリジナルペダルが記される以前のベートーヴェン・ピアノソナタでは、このような3連符の動きをくり返すことによって、ペダルの効果をだすことがしばしば行われていた。この“月光”の第1楽章の場合も、それと同じ傾向のものと考えてよいが、今日我々が演奏する時には、ペダルを使用する方が、一層この楽章の持つ音楽的内容を効果的に表現することができる。しかし、ペダルを使うことによって、全体が決して重くならない様注意すべきである。

形式的には、次のような構造になっている。

呈示部 1小節 — 23小節

展開部 24小節 — 42小節

再現部 43小節 — 69小節

この楽章は上記のような展開を見せているが、呈示部においては、冒頭から主題が演奏されるのではなく、*cis moll*の導入によって始まる。この5小節からなる導入部における低音の動きに注意しなければならない。すなわち、この低音を十分意識したペダリングが要求されている。そのような扱いによって、次に出てくる主題を一層効果的に演奏することができるようになる。このように始められた4小節からなる主題は、すでに*E dur*に転調されており、その後*e moll*へとさらに転調されている。転調に際しては、和声的な面に細かい神経を使い、音楽の流れを転調によって切断されぬよう、特に配慮すべきである。たとえば主題の冒頭では、一般的にペダルを新しく踏み替えられがちであるが、この場合にはペダルを踏み続けながら、その響きの中にわずかの間を挿入することによって、主題の入りを明確に演奏すべきである。

楽譜を見ただけでは、和声的およびリズム的な面において、特別難しいものとは思われないような部分においてさえも、以上のようなペダリングに関して微妙な配慮が必要なのである。

この作品の楽譜上には、冒頭に*Sempre PP e senza sordino*「*PP*でしかも弱音器なしで」と記されている。パウル・バドゥーラ＝スコダは、当時のピアノには弱音器の音栓もあり、これはハンマーと弦との間にフェルトの布をはさむことにより音を柔らかく、ピロードのように変えるものだった、と述べている<sup>3)</sup>。ベートーヴェンは、ピロードのような芯の無いただ柔らかい音をこの楽章で求めたのではなく、*PP*でしかも弱いながら1つ1つはっきりした音で演奏される事を望んだのであろう。今日のピアノでは、ソフトペダルを使いながら発音のはっきりした音を出すことは技術的にかなり難しいことではある。しかし、この楽章では適切など所でソフトペダルを使用することによって生み出される音色の変化や、それに伴う表情の変化などに絶大の効果がある。けれども第1楽章全般に使用するか、あるいは部分的に用いるかは、奏者の精神状態、気持、演奏会場などにより大きく左右されるため、個々人によって異なる。

## 第2楽章

第2楽章のペダリングは、特に次のような点で重要である。すなわち第1楽章と第3楽章が*cis moll*で、第2楽章が*Des dur*という組み合わせはエンハーモニックの転換であり、その和声の動きをペダルによって確実なものにし、第1楽章のプレリュード的な静かな雰囲気から、第3楽章への曲の盛り上りへとといった変化を効果的に演奏するようにしなければならない。

一般に、 $\frac{3}{4}$ 拍子で*Allegretto*と記されており、*Trio*が付いている楽章の場合にはメヌエットあるいはスケルツォの標示がある事がほとんどである。ベートーヴェンは、この楽章において何も記してないのは、メヌエットにもスケルツォにも性格的に当てはまらない音楽を考えていたのであろう。同じ $\frac{3}{4}$ 拍子でもメヌエットなどの標示があると比較的ペダリングを考え易いが、タイが多く使われているこの楽章にはそのような標示もないうえに、タイが多く使われていることなどもあって、ペダリングが非常に難しいものとなっている。 $\frac{3}{4}$ 拍子を生かし、リズムをはっきりさせて弾かねばならないこの楽章は、スタッカートなどにも軽く短いペダルを使うなど、特別の配慮が必要である。タイのついている箇所では、別の声部の音が加わったために、ペダルを踏み換えなければならない時には、踏み換える動きに影響されて、メロディーが切れたりしないように特に注意したい。

### 第3楽章

この作品の頂点になっている終楽章は、4つの部分から成りたっているソナタ形式である。

呈示部 1小節 — 64小節

展開部 65小節 — 101小節

再現部 102小節 — 158小節

終結部 159小節 — 200小節

第1主題は分散和音によるきわめてまれな形をしている。この主題をクレッシェンドにならないように演奏することは難しい。なぜならば、それは上昇形で書かれているうえ、フレーズの最後の和音にのみ *sf* がついており、しかも常に *P* で弾かなければならないからである。このような主題を奏する際には、ベートーヴェンによって記されたオリジナルペダルの扱いがさらに重要な問題となってくる。つまりオリジナルペダルのみではこの主題を効果的に演奏することはできないし、また、特にクレッシェンドのかかってない箇所ではペダルが多過ぎては好ましくない。そのような場合には、バス音のスタッカートにペダルをつけ響かせる事によってペダリングの効果が現れる。

21小節目からの第2主題は、第1主題とは違った優雅さにあふれている。2拍目から始まるこの主題のペダリングは、シンコペーションを生かすべき手段を講じなければならないが、和声はシンコペーションで始まっていないがため、和声をそこなわない様ペダリングには注意せねばならない。

第1主題、第2主題とも各部にあらわれている点において従来のソナタとは異っており、この2つのテーマが相対して、この楽章をより力強く盛りあげているものとみなされる。この楽章は分散和音で始まって分散和音で終るが、最後の分散和音においては当然ペダルは踏み替ええないが、カデンツでは明確に切ったペダリングを使用したい。

以上のようにOp. 27-2のペダリングに関するおもなポイントを整理してみたが、実際の演奏に際しては、奏者のその日の気分、精神的、肉体的な面、使用する楽器、会場によってペダリングはかなり異ってくるため、付記したペダルは基本的なものであって、部分的には必要に応じて変更が可能であることを理解されたい。

### 参考資料

1) 拙稿 「ピアノ奏法におけるペダルの技法」 静岡大学教育学部研究報告

人文、社会科学篇 第28号 1977年 (P. 35)

2) 拙稿 「ピアノ奏法におけるペダルの技法」 静岡大学教育学部研究報告

人文、社会科学篇 第31号 1980年 (P. 43)

3) パウル・バドゥーラ＝スコダ、高辻知義・岡村梨影共訳

ベートーヴェンピアノ・ソナタ 演奏法と解釈 昭和45年 音楽之友社

諸井三郎著 ベートーヴェンピアノソナタ —作曲学的研究— 昭和43年 音楽之友社

属啓成著 ベートーヴェン —作曲篇— 昭和38年 音楽之友社

なお 原典楽譜については G・ヘレン版を記載

# SONATE

## SONATA QUASI UNA FANTASIA

Der Gräfin Giulietta Guicciardi gewidmet  
Komponiert 1801

249

### Adagio sostenuto

Opus 27 Nr. 2

Si deve suonare tutto questo pezzo delicatissimamente e senza sordino<sup>\*)</sup>

14. *sempre pp e senza sordino*  
*cis moll*

① *sp* *P* 必ず前もって踏んでおく  
*pp* 主題 E dur

② *P* E durに転調して  
主題の始まる。バツルは踏み交いでスス入る

③ *P* 転調に備  
えて休符は切  
*P e moll* に転調した  
はつり踏み替える

④ *P* *P* *P* *P* *P* *P* *P* *P*

<sup>\*)</sup> D. h.: Dieses ganze Stück muß sehr zart und mit Pedal gespielt werden.

<sup>\*)</sup> I. e.: This whole piece must be played very delicately and with pedal.

<sup>\*)</sup> C. à d.: Tout ce morceau doit être joué très délicatement et avec pédale.

250

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

744

745

746

747

748

749

750

751

752

753

754

755

756

757

758

759

760

761

762

763

764

765

766

767

768

769

770

771

772

773

774

775

776

777

778

779

780

781

782

783

784

785

786

787

788

789

790

791

792

793

794

795

796

797

798

799

800

801

802

803

804

805

806

807

808

809

810

811

812

813

814

815

816

817

818

819

820

821

822

823

824

825

826

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

840

841

842

843

844

845

846

847

848

849

850

851

852

853

854

855

856

857

858

859

860

861

862

863

864

865

866

867

868

869

870

871

872

873

874

875

876

877

878

879

880

881

882

883

884

885

886

887

888

889

890

891

892

893

894

895

896

897

898

899

900

901

902

903

904

905

906

907

908

909

910

911

912

913

914

915

916

917

918

919

920

921

922

923

924

925

926

927

928

929

930

931

932

933

934

935

936

937

938

939

940

941

942

943

944

945

946

947

948

949

950

951

952

953

954

955

956

957

958

959

960

961

962

963

964

965

966

967

968

969

970

971

972

973

974

975

976

977

978

979

980

981

982

983

984

985

986

987

988

989

990

991

992

993

994

995

996

997

998

999

1000

1001

1002

1003

1004

1005

1006

1007

1008

1009

1010

1011

1012

1013

1014

1015

1016

1017

1018

1019

1020

1021

1022

1023

1024

1025

1026

1027

1028

1029

1030

1031

1032

1033

1034

1035

1036

1037

1038

1039

1040

1041

1042

1043

1044

1045

1046

1047

1048

1049

1050

1051

1052

1053

1054

1055

1056

1057

1058

1059

1060

1061

1062

1063

1064

1065

1066

1067

1068

1069

1070

1071

1072

1073

1074

1075

1076

1077

1078

1079

1080

1081

1082

1083

1084

1085

1086

1087

1088

1089

1090

1091

1092

1093

1094

1095

1096

1097

1098

1099

1100

1101

1102

1103

1104

1105

1106

1107

1108

1109

1110

1111

1112

1113

1114

1115

1116

1117

1118

1119

1120

1121

1122

1123

1124

1125

1126

1127

1128

1129

1130

1131

1132

1133

1134

1135

1136

1137

1138

1139

1140

1141

1142

1143

1144

1145

1146

1147

1148

1149

1150

1151

1152

1153

1154

1155

1156

1157

1158

1159

1160

1161

1162

1163

1164

1165

1166

1167

1168

1169

1170

1171

1172

1173

1174

1175

1176

1177

1178

1179

1180

1181

1182

1183

1184

1185

1186

1187

1188

1189

1190

1191

1192

1193

1194

1195

1196

1197

1198

1199

1200

1201

1202

1203

1204

1205

1206

1207

1208

1209

1210

1211

1212

1213

1214

1215

1216

1217

1218

1219

1220

1221

1222

1223

1224

1225

1226

1227

1228

1229

1230

1231

1232

1233

1234

1235

1236

1237

1238

1239

1240

1241

1242

1243

1244

1245

1246

1247

1248

1249

1250

1251

1252

1253

1254

1255

1256

1257

1258

1259

1260

1261

1262

1263

1264

1265

1266

1267

1268

1269

1270

1271

1272

1273

1274

1275

1276

1277

1278

1279

1280

1281

1282

1283

1284

1285

1286

1287

1288

1289

1290

1291

1292

1293

1294

1295

1296

1297

1298

1299

1300

1301

1302

1303

1304

1305

1306

1307

1308

1309

1310

1311

1312

1313

1314

1315

1316

1317

1318

1319

1320

1321

1322

1323

1324

1325

1326

1327

1328

1329

1330

1331

1332

1333

1334

1335

1336

1337

1338

1339

1340

1341

1342

1343

1344

1345

1346

1347

1348

1349

1350

1351

1352

1353

1354

1355

1356

1357

1358

1359

1360

1361

1362

1363

1364

1365

1366

1367

1368

1369

1370

1371

1372

1373

1374

1375

1376

1377

1378

1379

1380

1381

1382

1383

1384

1385

1386

1387

1388

1389

1390

1391

1392

1393

1394

1395

1396

1397

1398

1399

1400

1401

1402

1403

1404

1405

1406

1407

1408

1409

1410

1411

1412

1413

1414

1415

1416

1417

1418

1419

1420

1421

1422

1423

1424

1425

1426

1427

1428

1429

1430

1431

1432

1433

1434

1435

1436

1437

1438

1439

1440

1441

1442

1443

1444

1445

1446

1447

1448

1449

1450

1451

1452

1453

1454

1455

1456

1457

1458

1459

1460

1461

1462

1463

1464

1465

1466

1467

1468

1469

1470

1471

1472

1473

1474

1475

1476

1477

1478

1479

1480

1481

1482

1483

1484

1485

1486

1487

1488

1489

1490

1491

1492

1493

1494

1495

1496

1497

1498

1499

1500

1501

1502

1503

1504

1505

1506

1507

1508

1509

1510

1511

1512

1513

1514

1515

1516

1517

1518

1519

1520

1521

1522

1523

1524

1525

1526

1527

1528

1529

1530

1531

1532

1533

1534

1535

1536

1537

1538

1539

1540

1541

1542

1543

1544

1545

1546

1547

1548

1549

The musical score consists of six systems, each with a treble and bass staff. The key signature is three sharps (F#, C#, G#). The notation includes various musical elements:

- System 1 (Measures 47-50):** Treble staff has a melodic line with eighth and sixteenth notes. Bass staff has a harmonic accompaniment. Dynamic markings include *cresc.* and *p*.
- System 2 (Measures 51-54):** Continuation of the melodic and harmonic patterns. Dynamic marking *p* is present.
- System 3 (Measures 55-58):** Treble staff continues the melody. Bass staff has a more active accompaniment. Dynamic marking *cresc.* appears at the end of the system.
- System 4 (Measures 59-62):** Treble staff features a melodic line with fingerings (4, 2, 5, 1, 3). Bass staff has a harmonic accompaniment. Dynamic markings include *p* and *pp*.
- System 5 (Measures 63-66):** Treble staff has a melodic line with fingerings (1, 2, 3, 5, 4, 2, 1). Bass staff has a harmonic accompaniment. Dynamic marking *p* is present.
- System 6 (Measures 67-70):** Treble staff has a melodic line with fingerings (7, 3, 2). Bass staff has a harmonic accompaniment. Dynamic markings include *decresc.*, *pp*, and *p*.

The score concludes with the instruction *Attacca subito il seguente* followed by a *p* dynamic marking.

252

## Allegretto

La prima parte solamente una volta.

1. 精の  
ley-IL

10 短<軽<晴

19 cresc. sf p

27 cresc. sf p

37 Trio pp

49 cresc. p

Fine

Allegretto D.C.

\*) In T. 37, 41, 49, 53 steht das *fp* in der Eigenschaft ausdrücklich bei der Mittelstimme (wie oben); ungleichmäßig dagegen in der Orig. Ausg.

\*) In bars 37, 41, 49 and 53 of autograph, *fp* is expressly in the middle voice (as above); variable, on the other hand, in original edition.

\*) *fp* (mesures 37, 41, 49, 53) dans l'autographe expressément pour la voix moyenne (comme en haut); par contre irrégulier dans l'éd. originale.



### Presto agitato

[illegible]



This page of musical notation is for a piano piece, likely a study or a short composition. It features a treble and bass staff with various musical notations including notes, rests, and dynamic markings like 'cresc.', 'f', 'p', and 'decresc.'. The notation includes fingerings, articulation marks (like 'x'), and some handwritten notes in Japanese. The piece is in 2/4 time and the key signature has three sharps (F#, C#, G#).

Measure numbers 39, 43, 47, 51, and 55 are indicated at the beginning of their respective systems. The notation includes various musical symbols such as notes, rests, and dynamic markings. The piece concludes with a final measure in measure 59.

256

Handwritten annotations in Japanese:

- ⑤⑤: 51
- ⑤⑤: 104-111
- ⑤⑤: 104-111 離作時 104-111 弾
- ⑤⑤: 1. 2. 張開部

Dynamic markings and other symbols:

- p*, *x*, *f*, *cresc.*, *sp*
- Accents: *acc.*, *acc.*
- Handwritten symbols: *Red*, *\**, *1*, *2*, *3*, *4*, *5*

The musical score consists of six systems of staves. The first system (measures 78-81) shows a treble and bass staff with various notes and rests, including dynamic markings 'p' and 'cresc.'. The second system (measures 82-85) continues the piece with similar notation and dynamic markings. The third system (measures 86-89) features a treble staff with a melodic line and a bass staff with a more rhythmic accompaniment. The fourth system (measures 90-93) shows a treble staff with a melodic line and a bass staff with a more rhythmic accompaniment. The fifth system (measures 94-97) features a treble staff with a melodic line and a bass staff with a more rhythmic accompaniment. The sixth system (measures 98-101) shows a treble staff with a melodic line and a bass staff with a more rhythmic accompaniment.

\*) *fa* (nicht *g*) in Eigenschrift und Orig. Ausgabe.

\*) *f#* (not *g*) in autograph and original edition.

\*) *fa#* (non *sol*) dans l'autographe et l'édition originale.

\*\*) *sf* nur in Eigenschrift, nicht in Orig. Ausgabe.

\*\*) *sf* only in autograph, not in original edition.

\*\*) *sf* seulement dans l'autogr.; non dans l'éd. originale.

258

102 再現部

*fp* *f*

106 *f* *f*

109 *(cresc.)* *f* *f* *f*

111 *p* *x* *p* *p* *x* *p* *p* *p*

114 *p* *p* *p* *p* *p* *x* *p* *x* *p*

117 *x* *p* *p* *p* *p* *p*

The image displays a page of musical notation for a piano piece, consisting of six systems of staves. The key signature is three sharps (F#, C#, G#) and the time signature is 2/4. The notation includes various musical elements such as dynamics (cresc., p, f, ff, x), articulation (accents, slurs), and fingerings (1, 2, 3, 4, 5). The systems are numbered 126, 128, 129, 131, 132, and 133. The notation is in a key with three sharps (F#, C#, G#) and a 2/4 time signature.

\*) *p* in allen Quellen bereits auf eins;  
vgl. jedoch Takt 43.

\* ) *p* already on first beat in all sources;  
cp. however bar 43.

\* ) p dans toutes les sources déjà sur le 1<sup>er</sup> temps;  
cf. cependant mesure 43.





The musical score consists of six systems, each with a treble and bass staff. Measure numbers 162, 164, 167, 171, 174, and 178 are indicated at the start of their respective systems. The notation includes various piano techniques such as triplets, sixteenth-note runs, and dynamic markings like *sf*, *p*, and *cresc.*. Pedal markings (*ped.*) are used in measures 163-166. The score is divided into systems of two staves each.

\*) Nach der Eigenschrift: T. 165-166 mit Pedal; in T. 163 steht *con sordino* (= ohne Ped.). Originalausgabe hat in T. 163-166 kein Pedal.

\*) Autograph: bars 165-166 with pedal; bar 163 marked *con sordino* (i. e. without pedal). Original edition: no pedal in bars 163-166.

\*) D'après l'autographe: mes. 165-166 avec pédale; dans mes. 163 est écrit *con sordino* (= sans péd.). L'édition orig. n'a pas de pédale aux mes. 163-166.

262

185

186

187

Adagio Tempo I

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

744

745

746

747

748

749

750

751

752

753

754

755

756

757

758

759

760

761

762

763

764

765

766

767

768

769

770

771

772

773

774

775

776

777

778

779

780

781

782

783

784

785

786

787

788

789

790

791

792

793

794

795

796

797

798

799

800

801

802

803

804

805

806

807

808

809

810

811

812

813

814

815

816

817

818

819

820

821

822

823

824

825

826

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

840

841

842

843

844

845

846

847

848

849

850

851

852

853

854

855

856

857

858

859

860

861

862

863

864

865

866

867

868

869

870

871

872

873

874

875

876

877

878

879

880

881

882

883

884

885

886

887

888

889

890

891

892

893

894

895

896

897

898

899

900

901

902

903

904

905

906

907

908

909

910

911

912

913

914

915

916

917

918

919

920

921

922

923

924

925

926

927

928

929

930

931

932

933

934

935

936

937

938

939

940

941

942

943

944

945

946

947

948

949

950

951

952

953

954

955

956

957

958

959

960

961

962

963

964

965

966

967

968

969

970

971

972

973

974

975

976

977

978

979

980

981

982

983

984

985

986

987

988

989

990

991

992

993

994

995

996

997

998

999

1000